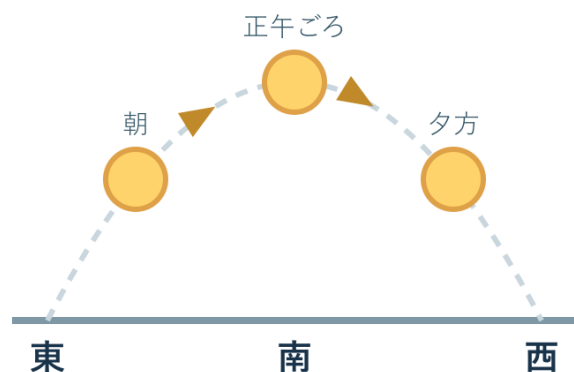


太陽や星の日周・年周運動

1日の動きは地球の自転、季節による星座の変化は地球の公転による見かけの動き

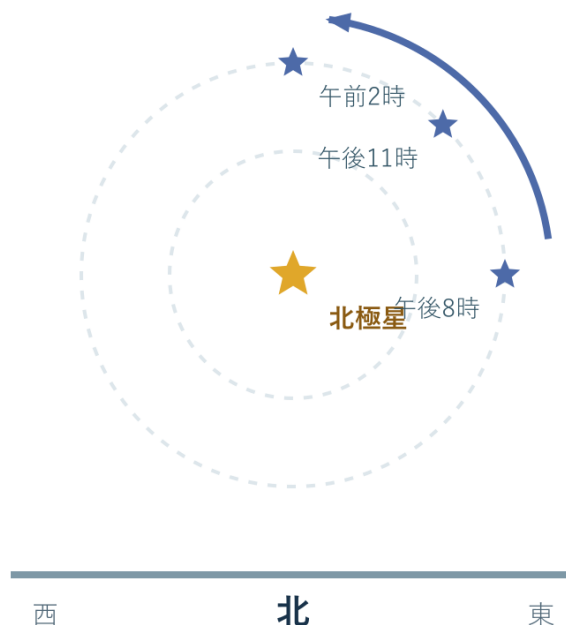
① 太陽の1日の動き（南の空）



東から昇り、南の空を通過して西に下る。

南の空の星も、東から西へ動く

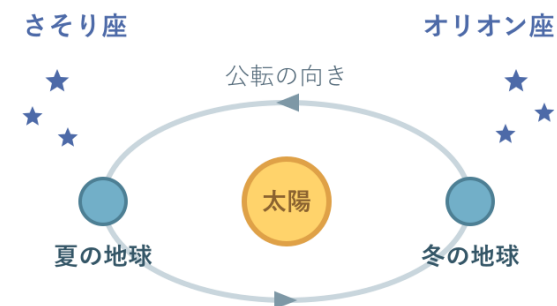
② 星の1日の動き（北の空）



北極星を中心に、反時計回りに1時間に約 15° 動く（1日で1回転）。

北極星はほとんど動かない

③ 季節による星座の変化



夜（太陽と反対の側）に見える星座が、公転によって変わる。冬の真夜中はオリオン座、夏はさそり座が見える。

同じ時刻に見える星座の位置は、1か月に約 30° ずつ東から西へずれる（年周運動）。

北極側から見た図。大きさ・距離は縮尺どおりではない

日周運動：地球の自転（1日に1回転）による見かけの動き。年周運動：地球の公転（1年に1回転）による。

模式図。角度は日本付近で見たときのおよその値。時刻は星の位置の変わり方を示す例。